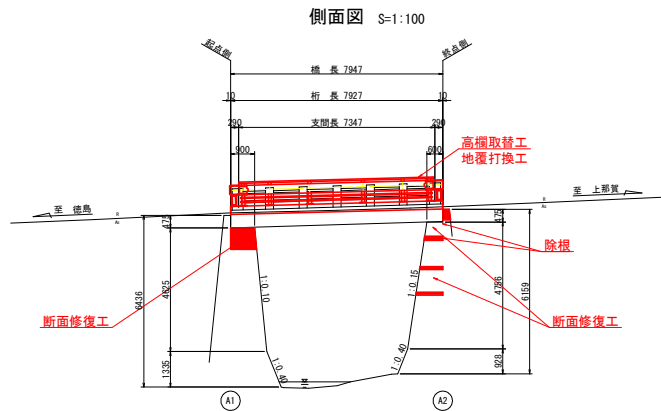
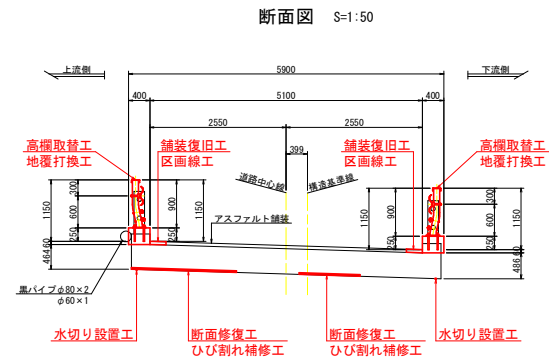


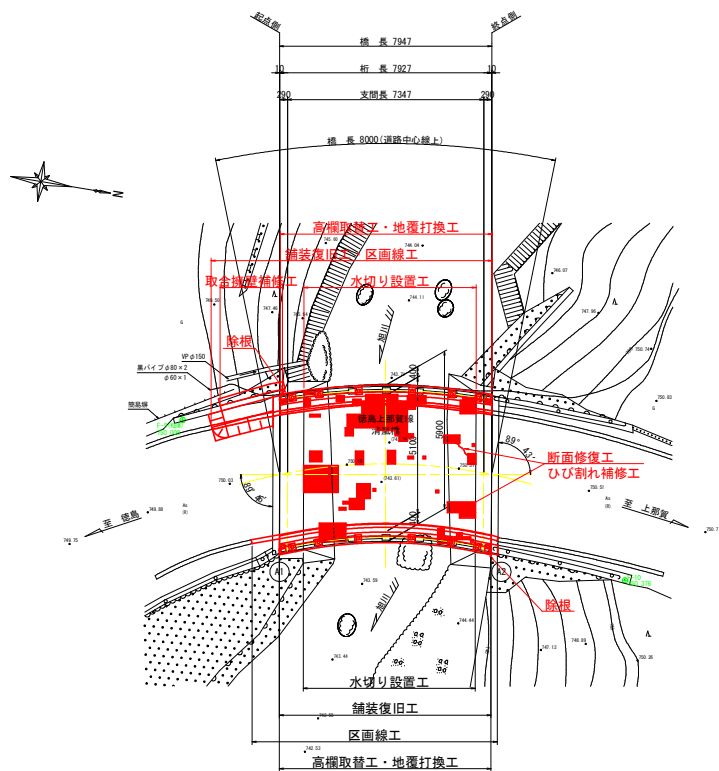
清嵐橋 補修計画一般図



DL=740.000



平面図 S=1:100



清嵐橋 補修工事内容一覧

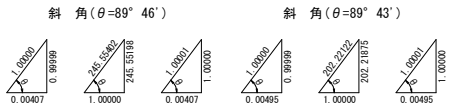
工 程	仕 様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入、可とう性エポキシ樹脂
水切り設置工	あと施工型(軟質PVC)
地覆打換工	RC構造
高欄取替工	ガードレール(C種 曲柱)
舗装復旧工	地覆打換工および取合擁壁補修工に伴う撤去・復旧
区画線工	地覆打換工および取合擁壁工に伴う外側線の復旧
取合擁壁補修工	A1橋台上流側取合擁壁の撤去・復旧
除根	A1橋台上流側、A2橋台下流側
橋名板等再設置工	橋名板等4基の再設置

注記

1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

【実施設計図面】

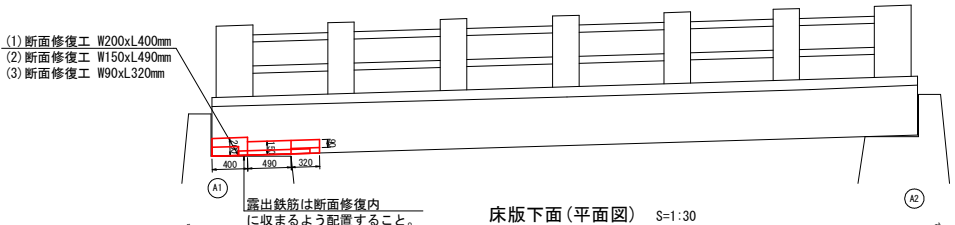
工 事 名	R8標土 徳島上那賀線(清嵐橋)
路線名等	上那賀線 上那賀線 橋梁修繕工事
工事箇所	徳島上那賀線
図 面 名	清嵐橋 補修計画一般図
縮 尺	図示 図面番号 1 / 9
年 度	令和8年度
事業者名	徳島県土整備事務所



情嵐橋 補修工詳細図(1/4)

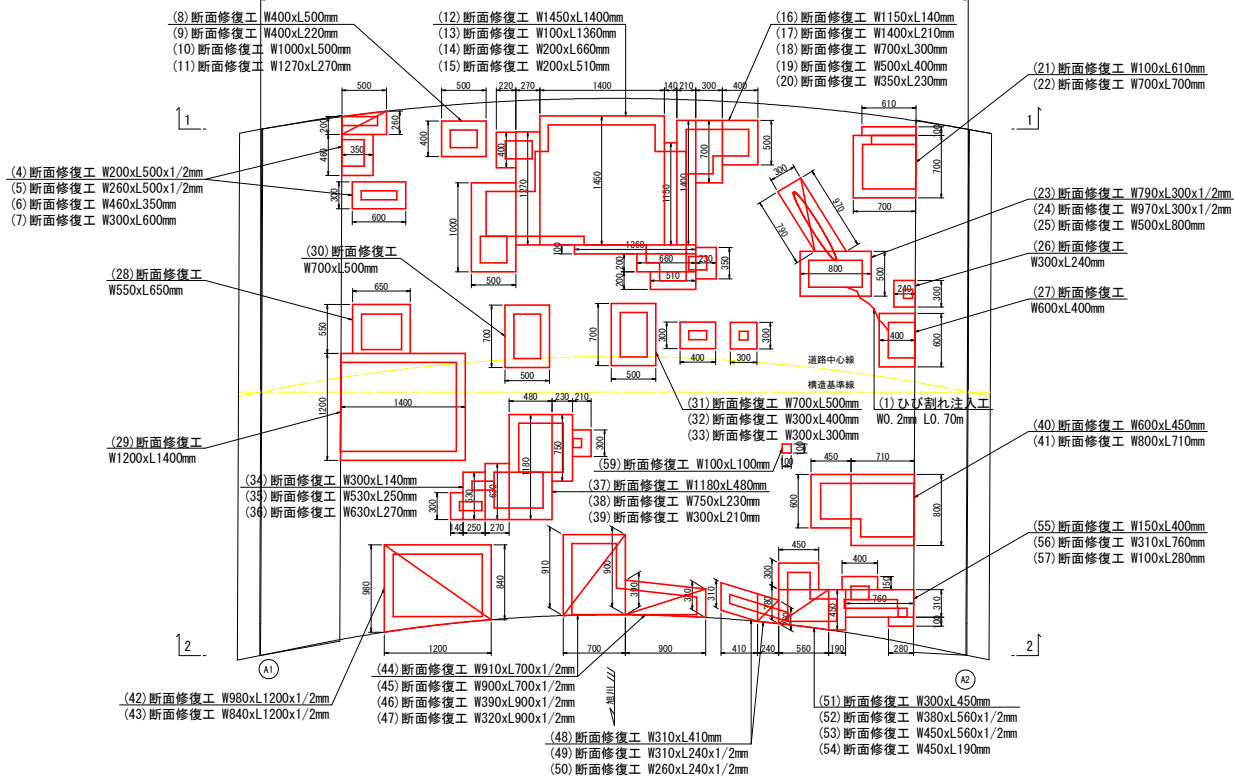
上部工 補修図

上流側側面図(1-1) S=1:30

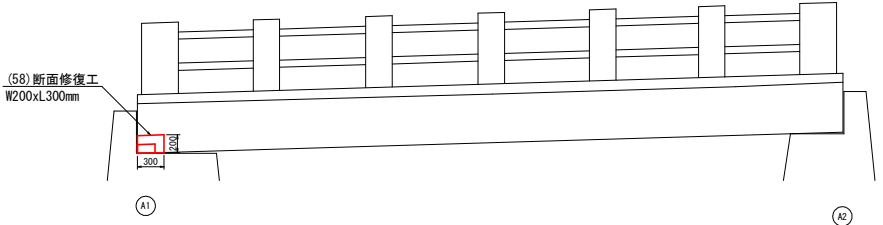


床版下面(平面図) S=1:30

橋長 7947

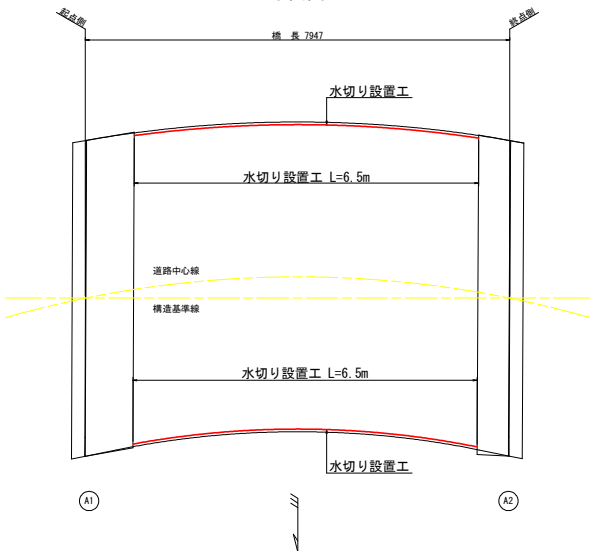


下流側側面図(2-2) S=1:30

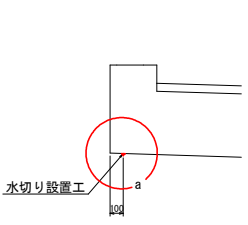


水切り設置工詳細図

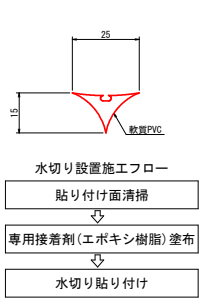
平面図 S=1:50



設置位置断面図 S=1:20



水切り詳細図(a部) S=1:1



注記)
水切りは上下流共に設置すること。

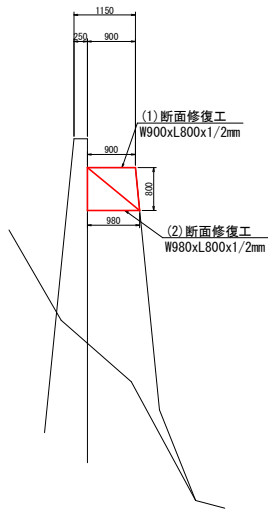
【実施設計図面】

工事名	R8橋土 徳島上野賀線(情嵐橋)
路線名等	上野・旭 橋梁修繕工事
工事箇所	勝浦郡上郷町旭(情嵐橋)
図面名	情嵐橋 補修工詳細図(1/4)
縮尺	図示 図面番号 2 / 9
年度	令和8年度
事業名	徳島県土整備事務所

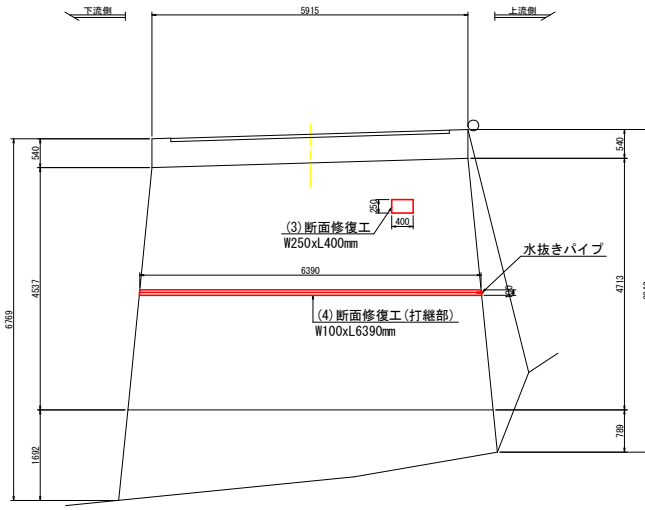
倩嵐橋 補修工詳細図 (2/4)

下部工 補修図

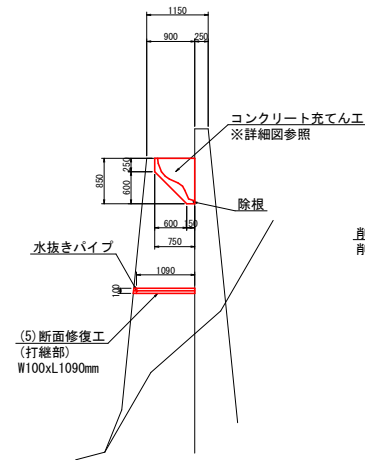
下流側側面図



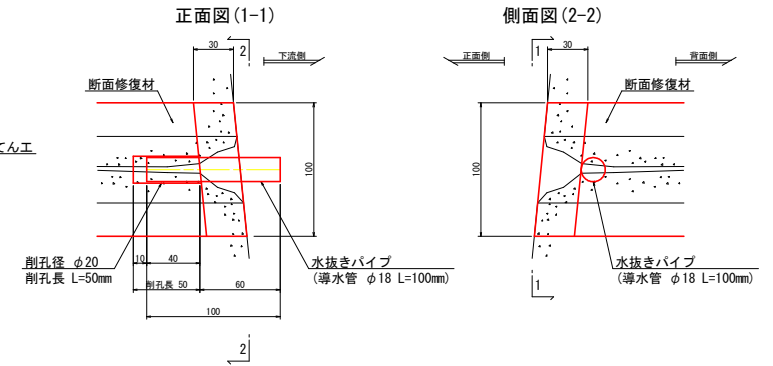
A1橋台正面図 S=1:50



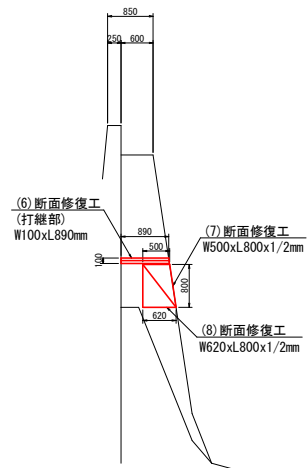
上流側側面図



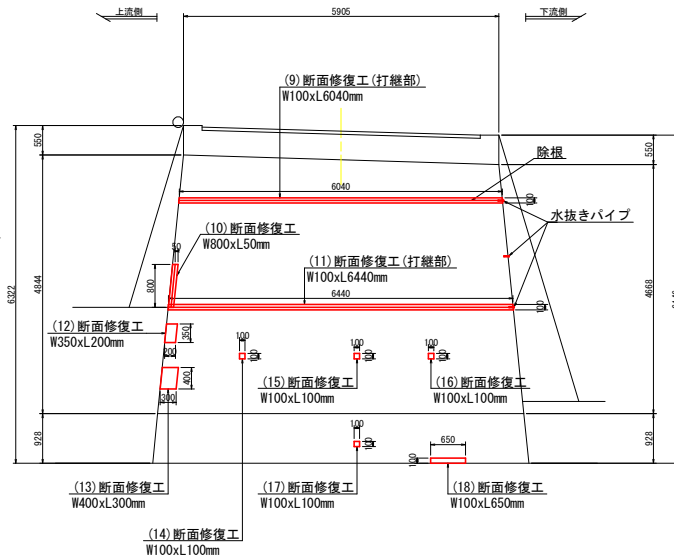
水抜きパイプ設置詳細図 S=1:2



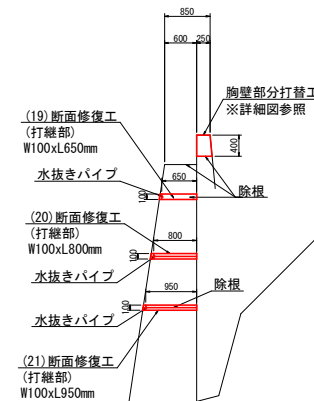
上流側側面図



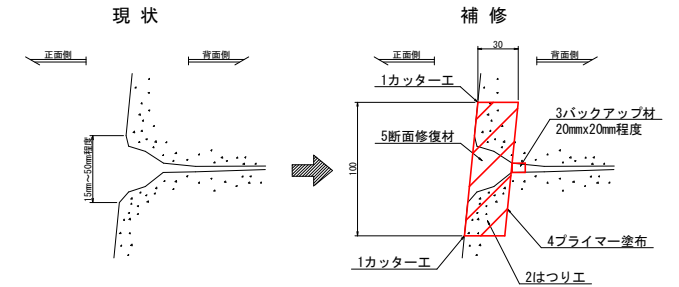
A2橋台正面図 S=1:50



下流側側面図



打継部補修要領図 S=1:2



【実施設計図面】

工 事 名	R8徳土 徳島上野賀線 (倩嵐橋)		
路線名等	上野・旭 橋梁修繕工事		
工事箇所	勝浦郡上郷町旭 (倩嵐橋)		
図 面 名	倩嵐橋 補修工詳細図 (2/4)		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 9
年 度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

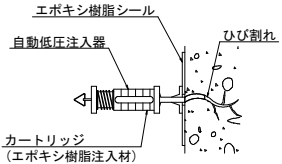
情嵐橋 補修工詳細図(3/4)

補修要領図

ひび割れ補修工

〔低圧注入工法〕

(エポキシ樹脂注入材 2種)



低圧注入器間隔 標準 ③300

注入量Vは下式より算出する。
 $V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$
ここに、
V : 注入量
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
b : ひび割れ幅
h : ひび割れ深さ
L : ひび割れ延長
1.20 : ロス率

- 注記)
1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
 2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行うこと。
 3. 注入深さは、50mmに設定している。
 4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

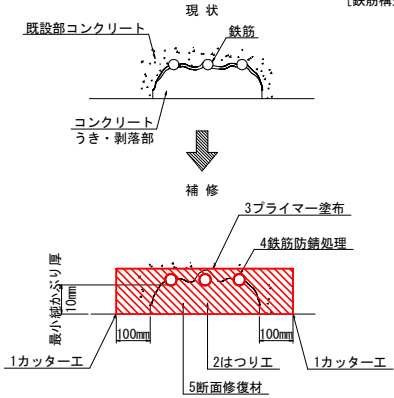
ひび割れ補修工(低圧注入工法)					
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.70	0.05	0.008	床版下面
合計				0.008	

断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.20	0.40	0.06	0.005	上流側側面
(2)	0.15	0.49	0.06	0.004	〃
(3)	0.09	0.32	0.06	0.002	〃
(4)	0.20	0.50	0.06	0.003	床版下面※
(5)	0.26	0.50	0.06	0.004	〃 ※
(6)	0.46	0.35	0.06	0.010	床版下面
(7)	0.30	0.60	0.06	0.011	〃
(8)	0.40	0.50	0.06	0.012	〃
(9)	0.40	0.22	0.06	0.005	〃
(10)	1.00	0.50	0.06	0.030	〃
(11)	1.27	0.27	0.06	0.021	〃
(12)	1.45	1.40	0.06	0.122	〃
(13)	0.10	1.36	0.06	0.008	〃
(14)	0.20	0.66	0.06	0.008	〃
(15)	0.20	0.51	0.06	0.006	〃
(16)	1.15	0.14	0.06	0.010	〃
(17)	1.40	0.21	0.06	0.018	〃
(18)	0.70	0.30	0.06	0.013	〃
(19)	0.50	0.40	0.06	0.012	〃
(20)	0.35	0.23	0.06	0.005	〃

断面修復工

〔鉄筋構造物：左官工法〕



断面修復材量Vは下式より算出する。

$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$

ここに、

V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長さ
t : 修復厚
1.18 : ロス率

注記)

1. 鉄筋構造物の断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
2. 修復厚さは、現場調査結果より、床版下面：純かぶり33mm+主鉄筋φ19.2⇒60mm に設定している。
3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
4. 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚を変更する場合は協議を行い決定すること。
5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

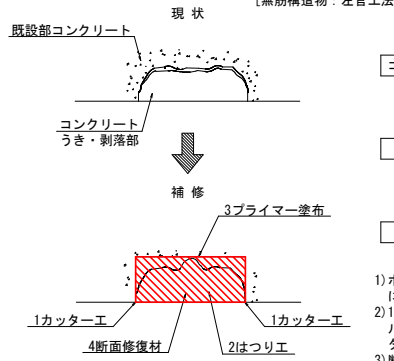
断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(21)	0.10	0.61	0.06	0.004	床版下面
(22)	0.70	0.70	0.06	0.029	〃
(23)	0.79	0.30	0.06	0.007	床版下面※
(24)	0.97	0.30	0.06	0.009	〃 ※
(25)	0.50	0.80	0.06	0.024	床版下面
(26)	0.30	0.24	0.06	0.004	〃
(27)	0.60	0.40	0.06	0.014	〃
(28)	0.55	0.65	0.06	0.021	〃
(29)	1.20	1.40	0.06	0.101	〃
(30)	0.70	0.50	0.06	0.021	〃
(31)	0.70	0.50	0.06	0.021	床版下面
(32)	0.30	0.40	0.06	0.007	〃
(33)	0.30	0.30	0.06	0.005	〃
(34)	0.30	0.14	0.06	0.003	〃
(35)	0.53	0.25	0.06	0.008	〃
(36)	0.63	0.27	0.06	0.010	〃
(37)	1.18	0.48	0.06	0.034	〃
(38)	0.75	0.23	0.06	0.010	〃
(39)	0.30	0.21	0.06	0.004	〃
(40)	0.60	0.45	0.06	0.016	〃

※は、A=幅×長さ×1/2

断面修復工

〔無筋構造物：左官工法〕



断面修復材量Vは下式より算出する。

$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$

ここに、

V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長さ
t : 修復厚
1.18 : ロス率

注記)

1. 無筋構造物の断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
2. 修復厚さは、現場調査結果より、下部工：30mm に設定している。
3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.90	0.80	0.03	0.011	A1橋台※
(2)	0.98	0.80	0.03	0.012	〃 ※
(3)	0.25	0.40	0.03	0.003	A1橋台
(4)	0.10	6.39	0.03	0.019	A1橋台(打継部)
(5)	0.10	1.09	0.03	0.003	〃
(6)	0.10	0.89	0.03	0.003	A2橋台(打継部)
(7)	0.50	0.80	0.03	0.006	A2橋台※
(8)	0.62	0.80	0.03	0.007	〃 ※
(9)	0.10	6.04	0.03	0.018	A2橋台(打継部)
(10)	0.80	0.05	0.03	0.001	A2橋台
(11)	0.10	6.44	0.03	0.019	〃
(12)	0.35	0.20	0.03	0.002	〃
(13)	0.40	0.30	0.03	0.004	〃
(14)	0.10	0.10	0.03	0.001	〃
(15)	0.10	0.10	0.03	0.001	〃
(16)	0.10	0.10	0.03	0.001	〃
(17)	0.10	0.10	0.03	0.001	〃
(18)	0.10	0.65	0.03	0.002	〃
(19)	0.10	0.65	0.03	0.002	A2橋台(打継部)
(20)	0.10	0.80	0.03	0.002	〃
(21)	0.10	0.95	0.03	0.003	〃
合計				0.121	

※は、A=幅×長さ×1/2

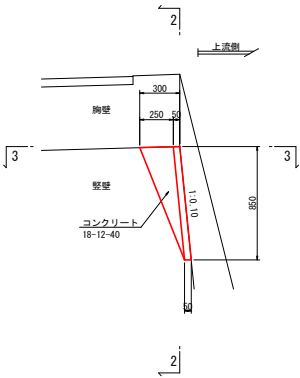
【実施設計図面】

工事名	R8橋土 徳島上野賀線(情嵐橋) 上野・旭 橋梁補修工事		
路線名等	徳島上野賀線		
工事箇所	勝浦郡上郷町旭(情嵐橋)		
図面名	情嵐橋 補修工詳細図(3/4)		
縮尺	-	図面番号	4 / 9
年度	令和8年度		
事業名	徳島県土整備事務所		

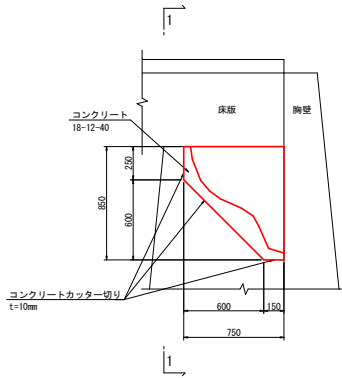
情嵐橋 補修工詳細図 (4/4)

コンクリート充てん工詳細図 S=1:20

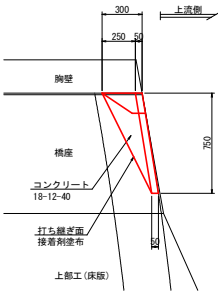
A1橋台上流側正面図 (1-1)



A1橋台上流側側面図 (2-2)

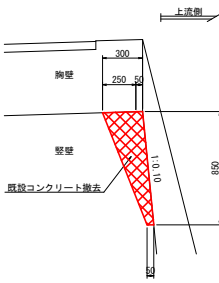


A1橋台上流側平面図 (3-3)

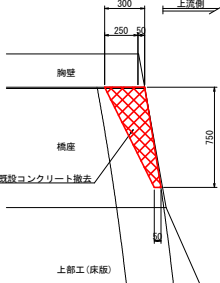


STEP. 1 : 既設コンクリート撤去

A1橋台上流側正面図 (1-1)

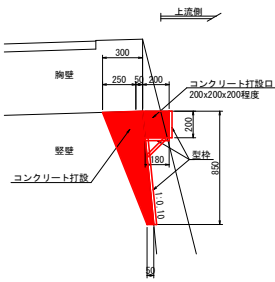


A1橋台上流側平面図 (3-3)

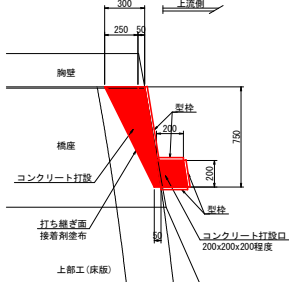


STEP. 2 : 型枠設置・コンクリート打設・養生

A1橋台上流側正面図 (1-1)

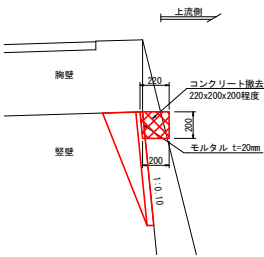


A1橋台上流側平面図 (3-3)

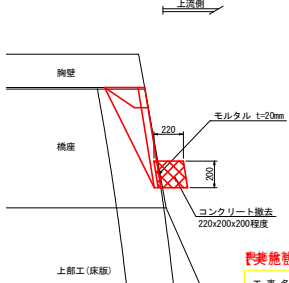


STEP. 3 : コンクリート打設口のコンクリート撤去

A1橋台上流側正面図 (1-1)



A1橋台上流側平面図 (3-3)

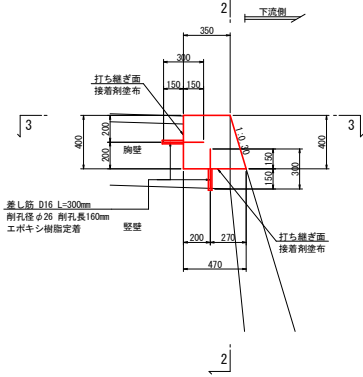


【実施態様断面図】

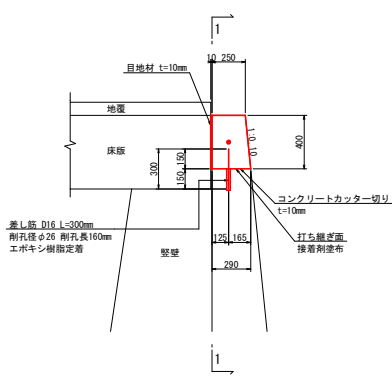
工 事 名	R 8 徳士 徳島上那賀線 (情嵐橋) 上り・旭 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上郷町旭 (情嵐橋)		
図 面 名	情嵐橋 補修工詳細図 (4/4)		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 9
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

胸壁部分打替工詳細図 S=1:20

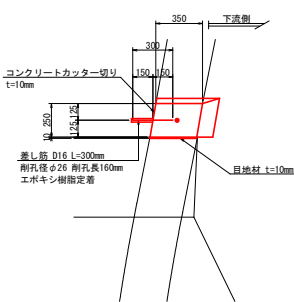
A2橋台下流側正面図 (1-1)



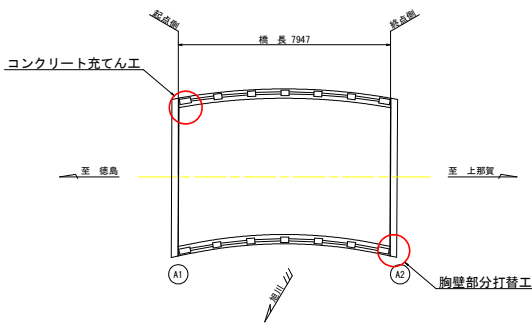
A2橋台下流側側面図 (2-2)



A2橋台下流側平面図 (3-3)

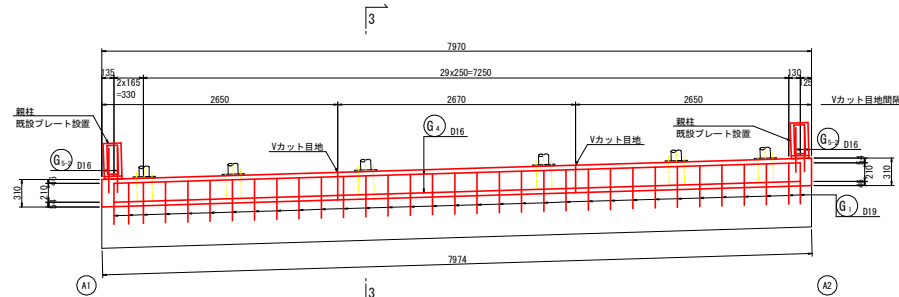


位置図 S=1:100

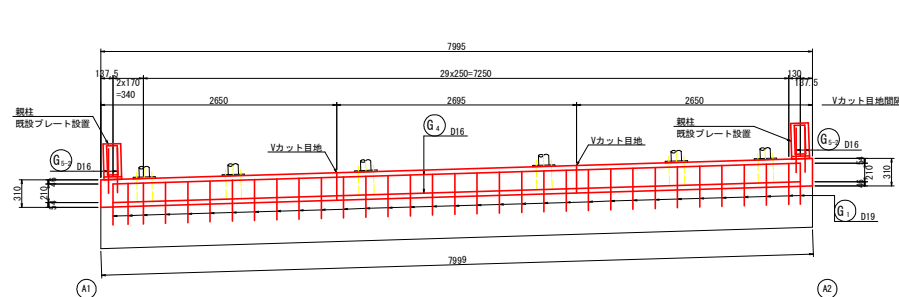


情嵐橋 地覆打換工詳細図

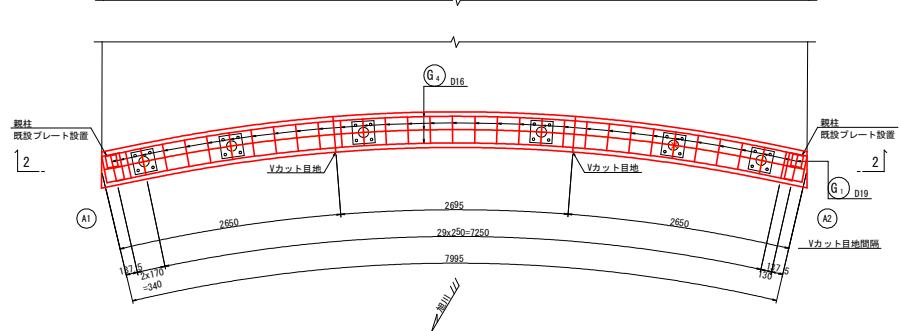
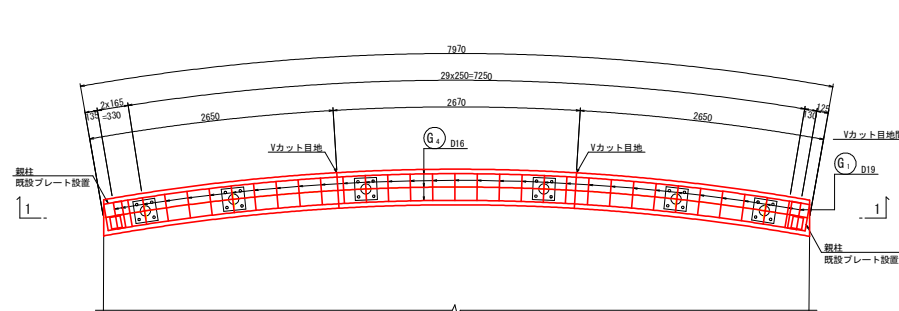
上流側側面図(1-1) S=1:30



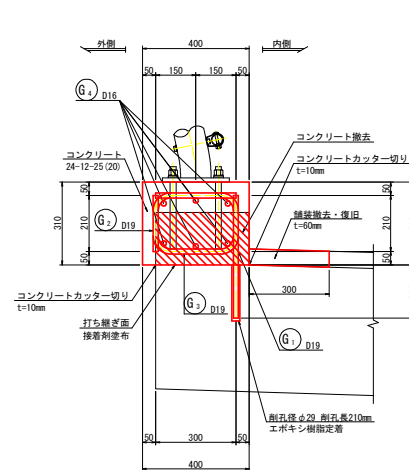
下流側側面図(2-2) S=1:30



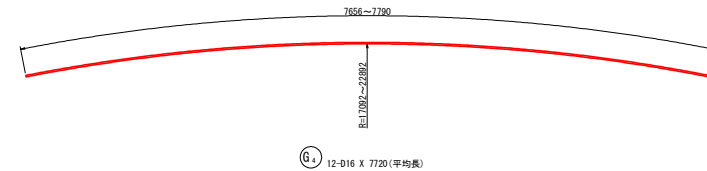
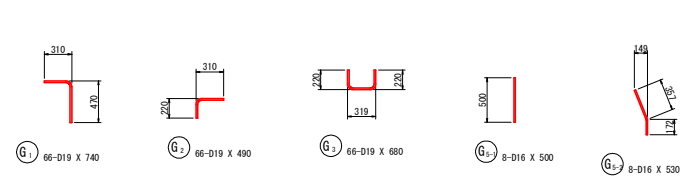
平面図 S=1:30



断面図(3-3) S=1:10



鉄筋加工図 S=1:30

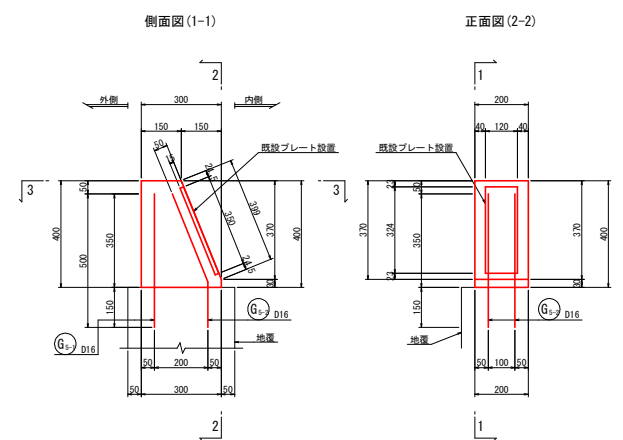


鉄筋質量表(SD345)

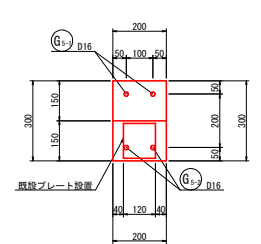
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
G1	D19	740	66	2.25	1.67	110	┐
G2	D19	490	66	2.25	1.10	73	┐
G3	D19	680	66	2.25	1.53	101	┐
G4	D16	7720	12	1.56	12.04	144	(平均値)
G5-1	D16	500	8	1.56	0.78	6	┐
G5-2	D16	530	8	1.56	0.83	7	┐
							441
合 計							
				D19	284 kg		
				D16	157 kg		
				総質量	441 kg		

- 注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 2. 寸法は、現場実測後決定する。
 3. 上流側地覆外側には、黒パイプ(3条、所有者不明)が設置されているため、発注者と協議し所有者を確認した上で、設置位置を移動させる等の対応を行うこと。

親柱詳細図 S=1:10

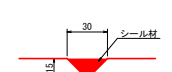


平面図(3-3)



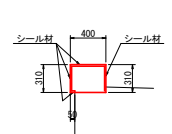
注記)
既設プレート厚さは推定値であるため、現場実測にて確認すること。

Vカット目地詳細図(参考図) S=1:2



注記)
脱型後、Vカット目地にシーリング材を充填すること。

シーリング材延長詳細図(断面図) S=1:30

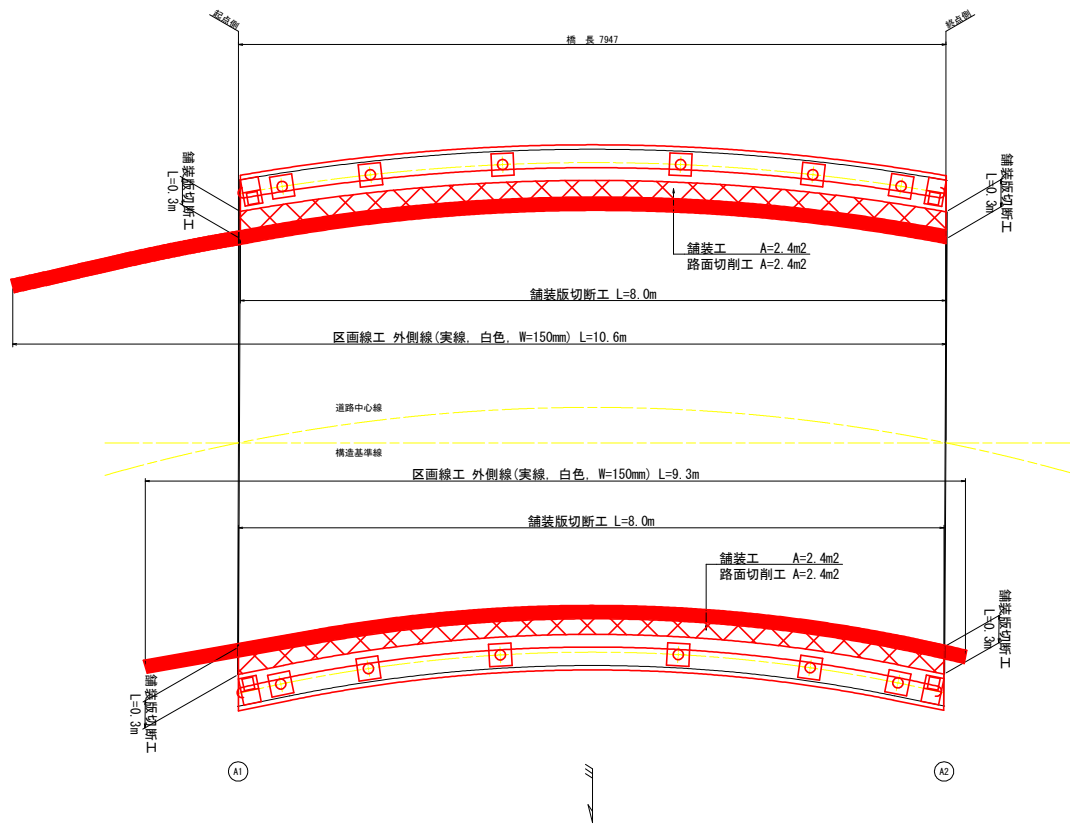


【実施設計図面】

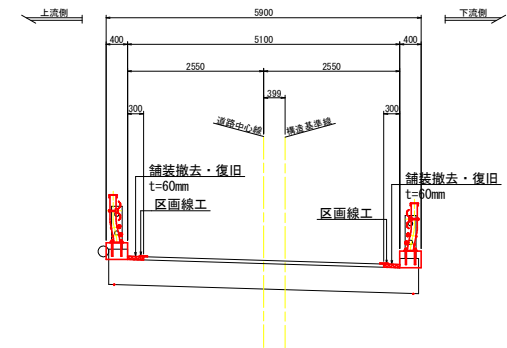
工 事 名	R8橋土 徳島上部架線(情嵐橋)		
路線名等	上野・旭 橋梁修繕工事		
工事箇所	勝浦郡上野町旭(情嵐橋)		
図 面 名	情嵐橋 地覆打換工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 9
年 度	令和8年度		
事業名	徳島県土整備事務所		

倩嵐橋 舗装撤去・復旧工詳細図

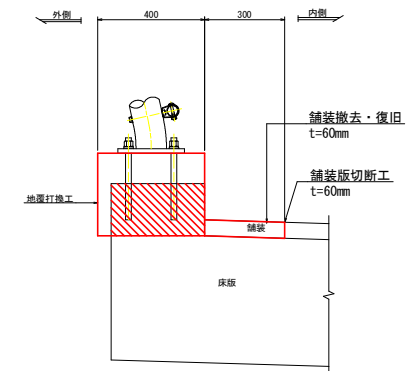
平面图 S=1:30



断面图 S=1:50



断面图 S=1:10

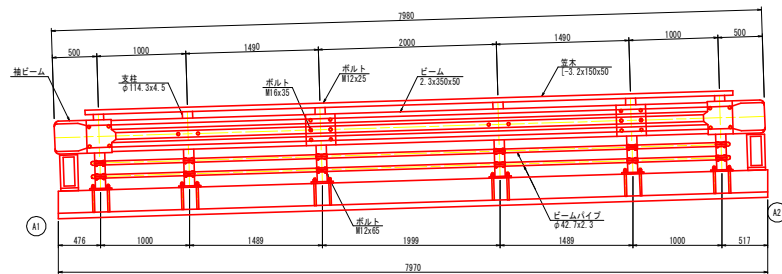


【実施設計図面】

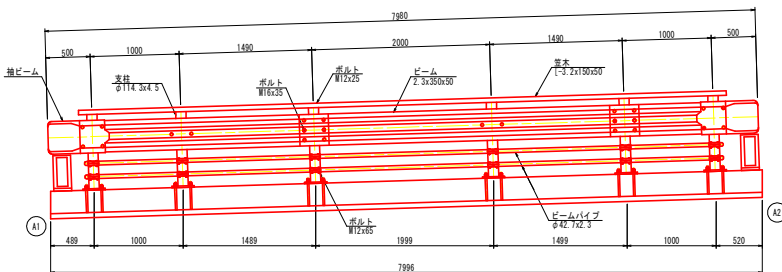
工 事 名	R8 橋上 徳島上那賀橋 (供嵐橋) 上勝、鳩 橋架修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町(鳩 (供嵐橋))		
図 面 名	供嵐橋 舗装撤去・復旧工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	7 / 9
年 度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

倩嵐橋 高欄取替工詳細図

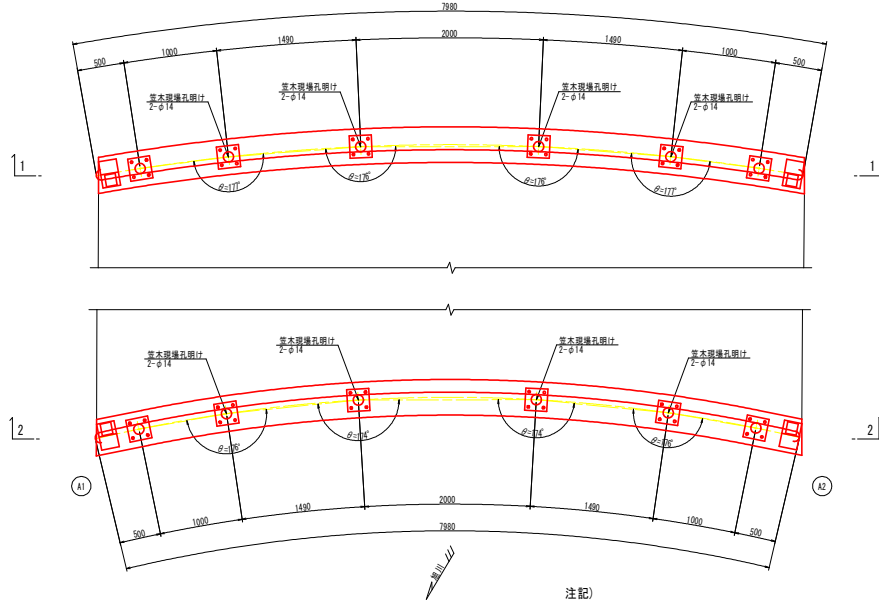
上流側側面図(1-1) S=1:30



下流側側面図(2-2) S=1:30

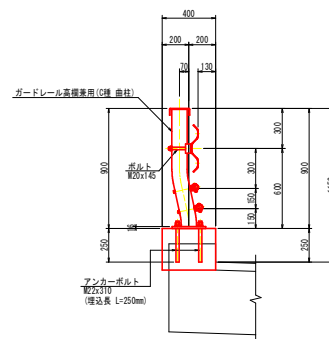


平面图 S=1:30

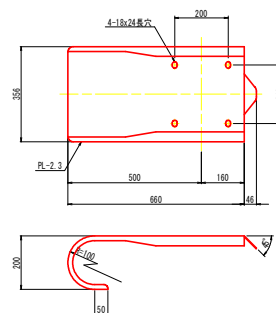


注記)
角度は、支柱位置での笠木の折れ角を示す。

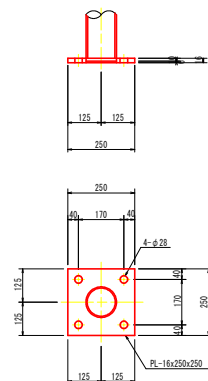
側面図 S=1:20



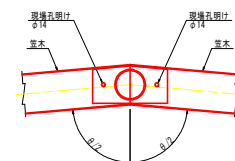
袖ビーム詳細図



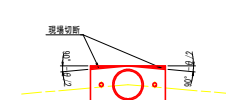
ベースプレート詳細図



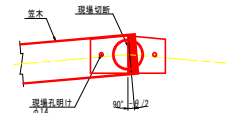
支柱部笠木詳細図 S=1:10



笠木ベース部加工詳細図 S=1:10

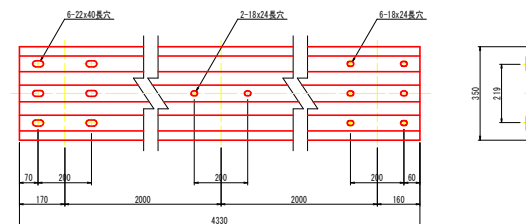


笠木加工詳細図 S=1:10

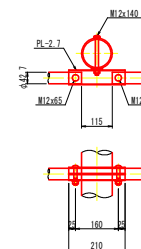


高欄詳細図 S=1:10

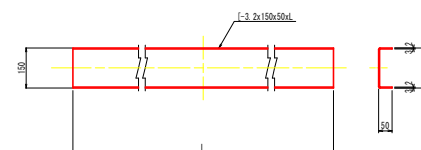
ビーム詳細図



ビームパイプ接続部詳細図



笠木詳細図



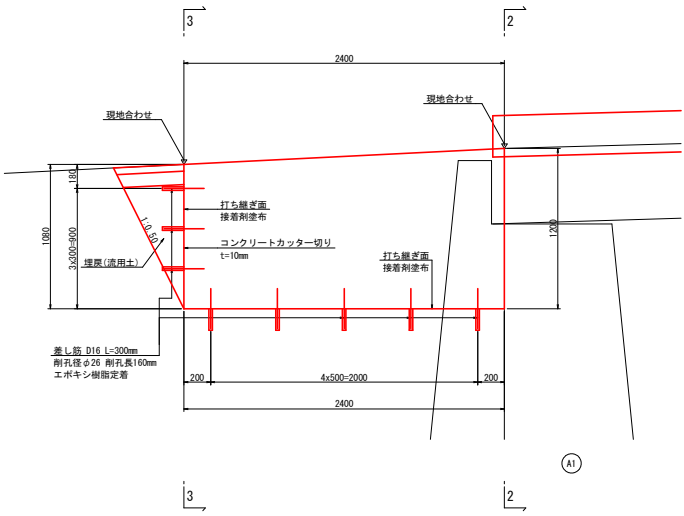
注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。
3. 笠木現場加工箇所は防食性の低下が懸念されるため、組立後に現場塗装を施すこと。

【実施設計図面】

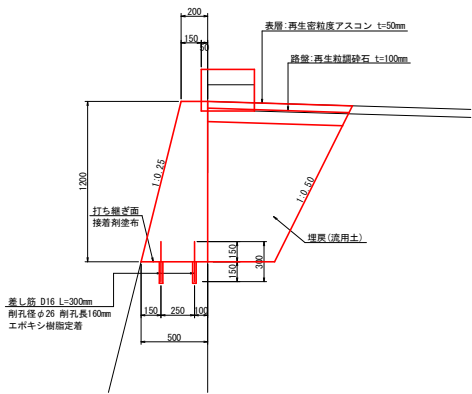
工 事 名	R 8 徳士 徳島上郷賀純（債嵐機） 上郷、旭 横梁修繕工事			
路線名等	徳島上郷賀純			
工事箇所	勝浦郡上郷町旭（債嵐機）			
図 面 名	債嵐機 高圧取替工詳細図			
縮 尺	図示	図番番号	8 / 9	
年 度	令和 8 年度			
事業者名	徳島県土木整備事務所			

倩嵐橋 取合擁壁補修工詳細図

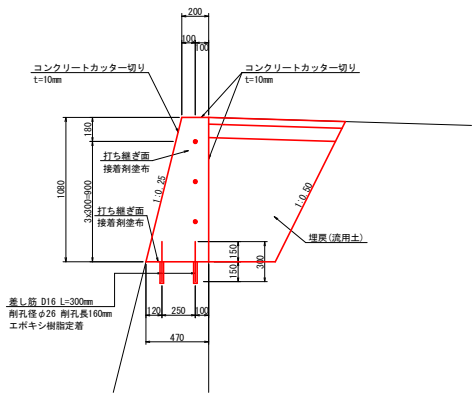
断面図(1-1) S=1:20



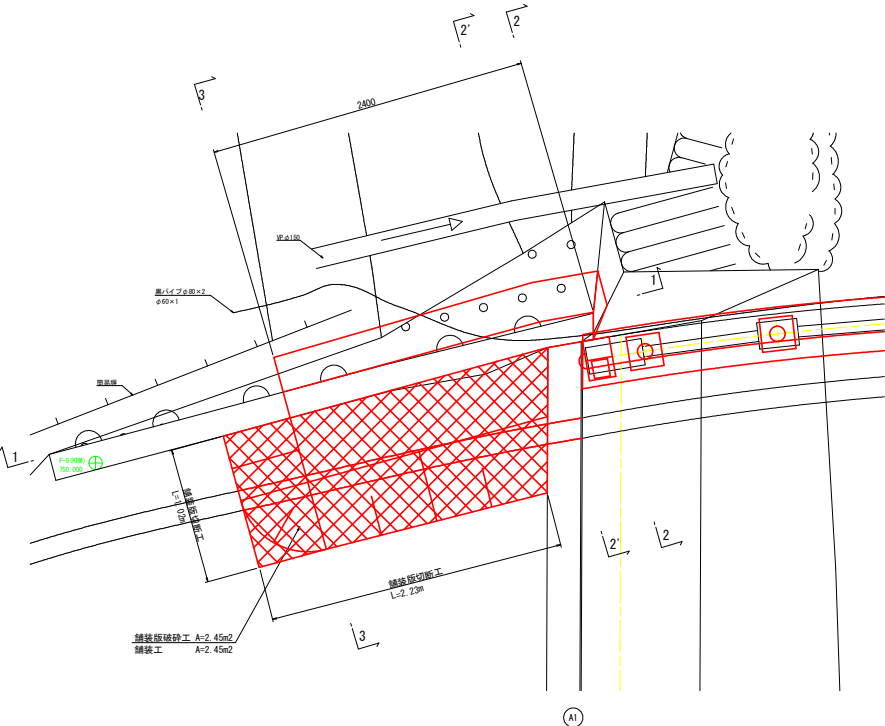
断面図(2-2) S=1:20



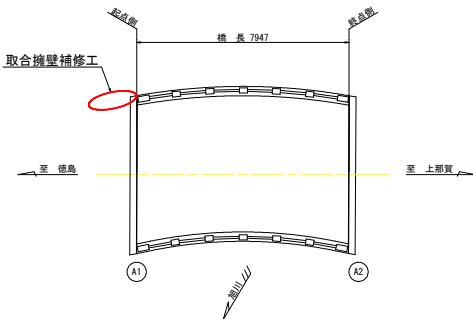
断面図(3-3) S=1:20



平面図 S=1:20



位置図 S=1:100



注記)
1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。

【実施設計図面】				
工 事 名	R8徳土 徳島上那賀線（倩嵐橋） 上勝・旭 橋梁修繕工			
路線名等	徳島上那賀線			
工事箇所	勝浦郡上勝町旭（倩嵐橋）			
図 面 名	倩嵐橋 取合擁壁補修工詳細図			
縮 尺	図示	図面番号	9 / 9	
年 度	令和8年度			
事業者名	徳島県土整備事務所			